

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	4	事業名	街路事業		路線又は箇所名等		習志野都市計画道路 3・3・1号東習志野実叡線		
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成9年	用地着手年度	平成10年度	工事着手年度	平成21年度	再評価の理由	再々評価		
				工事終了(認可)年度	平成37年度				
費用便益比 B/C	1.9 (4.9)	総費用	83億円 (21億円)	総便益	158億円 (101億円)	基準年	平成30年	供用開始 年度	平成38年

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

(目的)

本路線は幕張新都心から京葉道路武石ICを通り、千葉市と習志野市及び、八千代市の内陸を結ぶ幹線道路の一部で、京成本線と交差する踏切が交通の流れを分断し、慢性的な交通渋滞となっている。

本事業は京成本線との交差を立体交差とすることにより交通の円滑化及び自動車・歩行者の安全確保を図るものである。

(規模)

- ・総事業費：71億円
- ・事業延長：L=607m
- ・事業認可期間：平成9年度～平成37年度

【事業の進捗状況】

平成29年度末の進捗率 事業費ベース 63% / 用地買収面積ベース 97%

【社会経済情勢等】

国交省の行った踏切交通安全実態総点検の基準に基づき計算を行った結果、本路線と京成本線との踏切は自動車ボトルネック踏切に分類された。この踏切により本路線は慢性的な渋滞が発生している他、本路線に接続する他路線からの流入が困難となっている現状であった。

現在、暫定2車線で供用され、踏切による慢性的な渋滞は解消されているが、周辺に大規模商業施設（イオンタウン東習志野、イオンモール幕張新都心）の立地など、周辺土地利用の変化がみられており、当該区間が暫定2車線供用であることから、依然として朝夕には渋滞が発生している。また、現在、当該事業区間の南側区間の4車線化事業が進捗中であり、これらの事業の進捗に併せ当該区間の完成4車線化を図らなければ、将来的に当該区間がボトルネックになることが危惧される


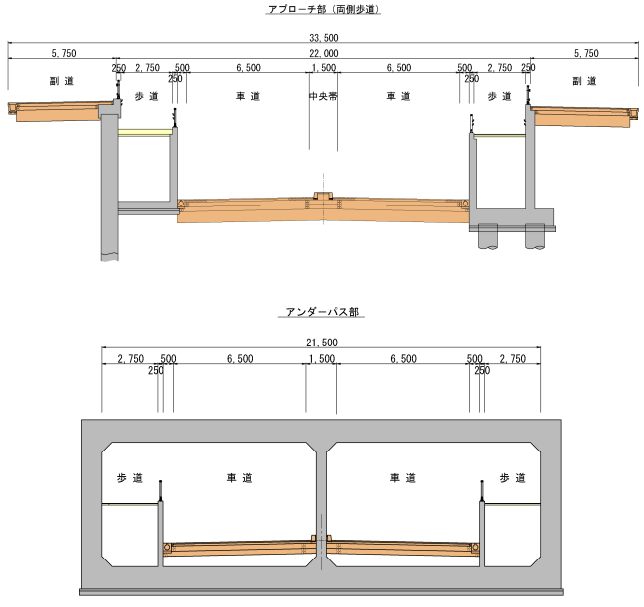
なお、暫定2車線で供用に伴い、片側歩道が整備されたことにより、渋滞時に見られていた車両の隙間を横断する歩行者や自転車などの危険な状態は解消されている。

【対応方針(案)】

継続

費用便益比(B/C)が1.9であり、費用対効果が見込まれること、整備効果として、踏切除却により渋滞の緩和、走行性の向上、踏切事故の解消の効果、歩道設置による歩行者の安全性の向上、幅員拡幅による防災機能の向上等の効果が期待できることから事業を継続し、効果の早期発現を目指す。

事業概要図

番号	4	事業名	街路事業	路線又は箇所名等	習志野都市計画道路 3・3・1号東習志野実籾線
<p>位置図</p> 	<p>標準断面図</p> 				



【別紙様式 5】

## 再々評価事業に関する調書

番 号	4	事 業 名	街路事業	路線又は箇所名等	習志野都市計画道路 3・3・1号東習志野実籾線	
事業化年度	平成 9 年度	用地着手年度	平成 10 年度	工事着手年度	平成 21 年度	
【再々評価（H25年度）の概要】						
再評価実施年度 （基準年）	平成 25 年度	供用開始年度	平成 32 年度	対応方針	継続	
B/C	2.9 (11.7)	総費用	60億円 (15億円)	総便益	175億円 (175億円)	
※上段：全体事業 下段（ ）：残事業						
再評価時の委員会の意見及び当時の状況						
○継続することが妥当である。						
・整備効果発現のため、早期の部分供用を図る。						
当時の状況						
進捗率は全体70%（事業費）、用地取得面積97%						
擁壁工の工事を進め、平成27年度に暫定2車線供用を目指す。						
再評価時の進捗状況及び再評価時想定5年後の進捗状況						
	計 画	進捗状況（H25）	5年後の想定進捗状況			
全体事業費	56.0億円	38.8億円(69.3%)	55.3億円(98.8%)			
うち用地補償費	12.0億円	11.4億円(95.0%)	12.0億円(100%)			
うち工事費	44.0億円	20.7億円(47.0%)	43.7億円(99.3%)			
【再々評価（H30年度）の概要】						
再評価実施年度 （基準年）	平成 30 年度	供用開始年度	平成 37 年度	対応方針	継続	
B/C	1.9 (4.9)	総費用	83億円 (21億円)	総便益	158億円 (101億円)	
※上段：全体事業 下段（ ）：残事業						
現在の進捗状況						
	計 画	進捗状況（平成30年度末）				
全体事業費	71.0億円	44.8億円(63.1%)				
用地取得面積	6349m <sup>2</sup>	6143m <sup>2</sup> (96.8%)				
供用延長	607m	607m（暫定2車線）				
再評価後の経過及び処理状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年3月 暫定2車線開通（アンダーパス）</li> <li>用地補償交渉を継続実施</li> </ul>					